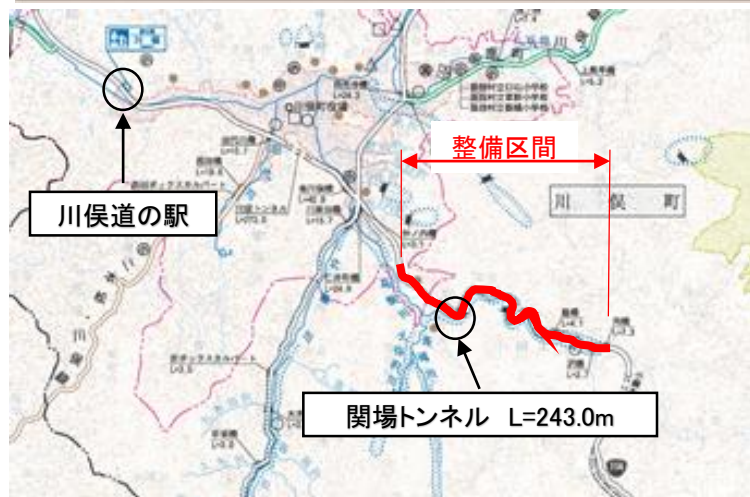


## 川俣町小綱木地区の「<sup>せきば</sup>関場トンネル」がついに貫通！ 3月2日に貫通式が執り行われました！



国道114号は、「ふくしま復興再生道路」として避難解除等区域の復興を担う重要な幹線道路です。

県北建設事務所では、川俣町小綱木地内(右上地図赤線部)の道路整備を進めており、早期開通を目指して集中的に工事を進めています。

その中の主要構造物である「関場トンネル」が3月2日に無事貫通しました。当日は寿・小野JV(共同企業体)により貫通式が行われ、貫通を祝いました！

関場トンネル貫通の様子をYoutubeにてご覧いただけます。



トンネルが貫通すると、暗いトンネル内に光が差し込みました。



厳肅な雰囲気の中、貫通式が執り行われました。



万歳にてトンネルの貫通を喜びました。

### ～関場トンネル貫通に伴う現場・地域の方の想いをインタビュー！～



寿建設(株) 現場代理人  
慶徳 卓哉氏

復興再生に重要な工事に携われて誇りに思っている。地元の方にとって国道114号は重要なライフラインになるため、最後まで緊張感を持って、無事竣工に努めます！



寿建設(株) 監理技術者  
三浦 孝雄氏

幼少期に小綱木地区に住んでおり、国道114号を利用していたが、3つのトンネルができることで浪江や浜通りに行きやすくなると思う。この工事に携われたことを誇りに思い、今後も頑張ります！



(有)川俣シャモファーム 代表取締役  
斎藤 正博氏

小綱木地区は山間部で急カーブが多く、運転しにくい道だったが、トンネル建設によりカーブが減り、全線開通すれば楽しい運転ができると思う。今後、地域活性化につながればいいなと思っています！



# 関場トンネルの貫通石を中学校へ贈呈しました。

県北建設事務所では、工事施工者の寿・小野JVの協力のもと、3月2日(水)に貫通しました、国道114号山木屋工区関場トンネルの貫通地点で採取された石である「貫通石」を、川俣町の山木屋中学校及び川俣中学校へお届けしました！



川俣町のシルクで作られた袋(左)と関場トンネル貫通石(右)

## 貫通石って？

「貫通石」は、トンネルの貫通点付近にて採取された石で、トンネル工事の難関突破の証として学業成就や安産などのお守りとして用いられることがあります。今回は、川俣町のおりもの展示館にて作成いただいたシルクの袋に3cmほどの大きさに整えられた関場トンネル貫通石を入れてお配りしました。

貫通石の贈呈を通じて、川俣町の将来を担う中学生にエールをお送りするとともに、地域の発展を支える土木施設への愛着や、地域の守り手である建設業への理解を深めていただきたいと思います、実施しました。

寿建設(株)の森崎社長は、生徒たちに「決して諦めなければ必ず光が見えてくる」と、トンネルへの思いを交えた激励の言葉を添えながら貫通石を渡しました。



森崎社長から貫通石を受け取る生徒たち



森崎社長及び相澤所長へお礼の言葉を述べる斎藤さん



福島県県北建設事務所 企画調査課  
電話番号 024-521-2514 FAX 024-521-2849



県北建設事務所HP



河川ライブカメラ

県北管内の川の様子をご覧いただけます。